

動機付けサービス



全国に勤務する管理栄養士による動機付けセミナー

✓ 2020年8月までの受講者 延べ1万5千人以上

√満足度90%以上

オンライン化 デジタル化



オンラインセミナーの提供

グループワークや投票機能を 活用した双方向型セミナー



※画像はイメージです。 今後変更する可能性があります。

€ 1

RA 講師選択 講師を選んでください







E-ラーニングの提供

都合の良い時間、場所で セミナーと同じ内容が学べる



環境サポートサービス

「野菜を手軽に摂取できる環境」を提供



- ✓ 従業員が職場でも、自宅でも野菜を摂取しやすいように、野菜飲料を配送
- ✓ 費用の一部を企業が負担することで、手軽に 摂取できる
- ✓ 動機付けにもなる動画コンテンツも配信



コロナ環境下でも手間なく実施できる健康増進施策



実行支援サービス① 『ベジチェック®』

カゴメ ベジチェック®





簡単 数十秒

わかりやすい



・皮膚のカロテノイド量から 体内の抗酸化レベルを 120段階で評価

Meinke MC, 2016 Meinke MC, 2017

·過去約1ヶ月の食生活の 野菜摂取量を推定 2020年7月までの測定回数

12万件超



- ✓ 健診データとの関連検証
 →メタボ検査結果との関連示唆
- ✓ 日本人の野菜摂取に関する ビックデータとして活用
- ✓ 他のデバイス、ヘルスケアプラット フォームとのデータ連携

Matsumoto M. 2020



実行支援サービス②『ベジ選手権アプリ』

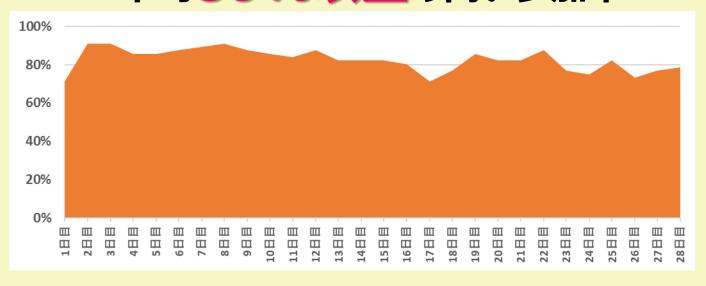
食生活の自己管理 モバイルアプリで楽しくサポート





- ・一人ではなくチームで参加
- ・最初の食生活が悪い人ほど有利
- ・最後の最後で順位変動有り

✓ 4週間の実施期間中、 平均80%以上の高い参加率



✓ 野菜摂取への影響

ベジチェック®の野菜摂取レベル



n = 56



意識・行動の変化に繋がる総合サービスの提供

意識が変わる、行動も変わる「カゴメ健康サポートプログラム」を提案

④ 新たな施策の提案

① 動機付け

















③ 行動支援、環境サポート





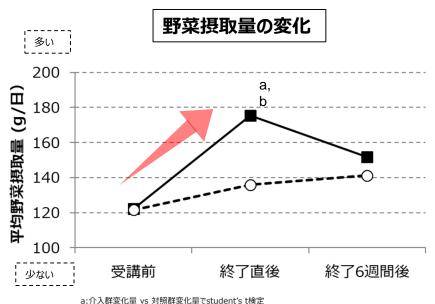
② 自己アセスメント、目標の設定





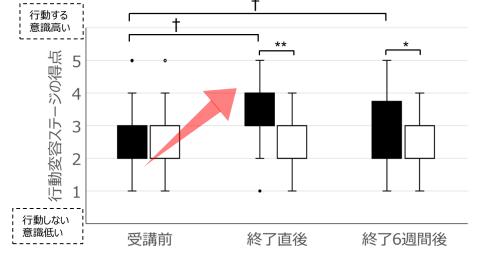
サービスの質向上に向けたエビデンスの取得

提供するサービスの品質保証、より効果的なサービスへと改善するため、 プログラム受講による野菜摂取への影響について、エビデンス取得活動実施



a:介入群変化量 vs 対照群変化量でstudent's t検定 b:郡内で事前vs プログラム直後、プログラム終了6週間後の結果をone-way ANOVA検定後にDunnett検定

野菜摂取の意識・行動の変化 行動する 意識高い



前熟考期を1点、熟考期を2点、決定期を3点、実行期を4点、維持期を5点で得点化 介入群変化量 vs 対照群変化量でMann-Whitney U 検定 ** p<0.001, * p<0.01 群内で事前vs プログラム直後、プログラム終了6週間後の結果についてFriedman検定 † p<0.001

カゴメ健康サポートサービスを受講した群

対照群(受講しなかった群)



2020年10月 栄養学雑誌に掲載